

# 京都大学防災研究所年報

## 第 68 号 B [令和 6 年度]

---

盆地構造モデル修正のための計算波動場解析……………	1
関口 春子	
令和 6 年能登半島地震における事業者アンケートの概要報告……………	5
廣野 洋太・松島 格也・多々納裕一・鶴島 大樹・齊藤 龍	
アートとデジタル捺染技術の融合による防災アートファッションのコンセプトと開発……………	11
土佐 尚子・Natalie Ng Jen RYU・瀧川 雄亮・中津 良平	
日常と災害におけるケアのアナロジーの探究—ケアの議論と言葉の手がかりをつくる—……………	20
土田 亮・藤井 愛海・頼政 良太・中野 元太	
能登半島北東部の地震活動と遠地震による誘発度との比較……………	33
松尾 凌・宮澤 理稔	
森本・富樫断層帯周辺における臨時強震観測……………	38
浅野 公之・岩田 知孝・稲谷 昌之・田中 礼司・西村 利光・赤澤 隆士	
変動地形とボーリングデータの解析による京都盆地南部の宇治川断層と円明寺 —男山断層の位置と活動性……………	46
堤 浩之・増田富士雄・岩田 知孝・浅野 公之	
2 質点系建物モデルを用いた Maxwell 要素で表現する粘性ダンパによる連結制振の解の 多質点系モデルへの展開……………	61
池田 芳樹・松本 祐輝	
安価な火山観測用小型固定翼ドローンの開発……………	84
東野伸一郎・吉村 令慧	
船舶レーダによる桜島噴煙の機動的観測……………	91
西 隆昭・眞木 雅之・中道 治久・海賀 和彦・藤吉 康志	
フラックスゲート磁力計を基にした小型電磁場測定システム —京都大学防災研究所仕様ケースを用いた簡易温度検定—……………	96
畑 真紀・山崎 友也・吉村 令慧	
ニュージーランド北島における長周期 MT 観測の概要 —位相テンソル解析および一次元比抵抗構造解析—……………	100
畑 真紀・Grant CALDWELL・上嶋 誠・Alex CALDWELL・小川 康雄・ Ted BERTRAND・Stewart BENNIE・Wiebke HEISE・吉村 令慧	

Preliminary Report on Broadband and Magnetotelluric Survey on Sakurajima Island .....	106
Cinantya Nirmala DEWI, Ryokei YOSHIMURA, Maki HATA, Rintaro MIYAMACHI, Shintaro KOMATSU, Ken'ichi YAMAZAKI, Tadaomi SONODA and Yuusuke TAKENAKA	
京都大学防災研究所黒神観測室構内の表層構造.....	114
筒井 智樹・木尾 竜也・多田 悠也・菅原 瑠一 中道 治久・下司 信夫・棚田 嘉博・小林 哲夫	
黒神観測室構内における水槽内エアガン発振実験 —長期連続反射法基礎実験（第3回目）— .....	129
筒井 智樹・加藤 政史・澤田壮一郎・井口 正人	
海底地盤変動観測装置による始良カルデラ海域の地盤変動観測.....	153
味喜 大介・筒井 智樹・井口 正人	
自動微分を用いた数値最適化と変分法データ同化.....	158
榎本 剛・中下 早織	
線型回帰問題としてのアンサンブル感度解析.....	170
中下 早織・榎本 剛	
1次元フーリエ変換を用いた極を含む等緯度経度格子上での微分手法 .....	182
野村 鈴音・榎本 剛	
2023年1月の日本の寒波事例に対するアンサンブル随伴感度解析 .....	191
福島 実・榎本 剛・高谷 怜・西村 浩一	
春季の高温事例と南高北低の気圧配置との関係.....	196
小松 大晟・榎本 剛	
気象変数の特徴量とした台風中心および対流活動域の識別—XGBoostによる分類— .....	202
松本 涼太・榎本 剛	
正方形ネットの背後に生じる風速場の風洞実験 —洋上カーテンを想定した気象制御シミュレーションの精度向上に向けて—.....	206
山口 弘誠・鈴木 克進・西嶋 一欽・中北 英一	
線状対流系の偶発的な発生・不発生に分岐点に関する基礎的検討.....	213
山口 弘誠・永田 惇・中北 英一	
内外水氾濫時による浸水の迂回を考慮した避難解析による洪水時の安全避難に関する検討...	221
藤野 晃慈・田中 規夫・五十嵐善哉	
ウェイングライシメータの再稼働による継続観測再開の取り組み.....	231
萬 和明	
Analyzing the Impact of Urbanization on Flood Vulnerability through Recent Floods and Socio-Economic Data .....	235
Sunmin KIM, Takuya SATO and Yasuto TACHIKAWA	